

令和元年度 第1回府中市福祉計画検討協議会会議録

■日 時 令和元年7月25日（木） 午前10時00分～11時30分

■場 所 府中市役所 北庁舎3階 第3会議室

■出席者

＜委 員＞

伊藤敏春、久保寺治、佐藤信人、須藤光忠、中島和子、馬場昌良、林比典子、平田嘉之、松崎哲也、真鍋美一、横手喜美子、吉村博子、和田光一（五十音順・敬称略）

＜事務局＞

吉野副市長、福祉保健部長（村越）、地域福祉推進課長（渡邊）、地域福祉推進課長補佐兼福祉計画担当副主幹（中澤）、高齢者支援課長（山田）、高齢者支援課長補佐（大木）、介護保険課長（坪井）、介護保険課長補佐（阿部）、障害者福祉課長（北村）、障害者福祉課長補佐（笹岡）、健康推進課長（横道）、健康推進課成人保健係長（福嶋）、地域福祉推進課職員（更級、岡田）、株式会社生活構造研究所（半田、柏木）

■欠席者 岡本直樹、櫻井誠、藤原佳典

■傍聴者 なし

- 議事
- 1 委嘱状伝達
 - 2 副市長挨拶
 - 3 委員自己紹介
 - 4 正副会長選出
 - 5 諮問
 - 6 協議事項

- (1) 会議の公開等について
- (2) 次期府中市福祉計画策定について
- (3) 次期府中市福祉計画策定のために実施する調査について
- (4) 次期府中市福祉計画策定スケジュールについて

7 その他

■資料

次第

席次表

資料1 府中市福祉計画検討協議会委員名簿

資料2 府中市福祉計画検討協議会の公開等について（案）

資料3 府中市福祉計画検討協議会規則

資料4 次期府中市福祉計画の策定について

資料5 府中市福祉計画策定のための調査一覧

資料6 府中市福祉計画等策定スケジュール（案）

参考資料

福祉エリア（日常生活圏域）と文化センターエリアについて
府中市福祉計画 地域福祉計画 福祉のまちづくり推進計画
府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第7期）
府中市障害者計画 障害福祉計画（第4期）
府中市障害福祉計画（第5期） 障害児福祉計画（第1期）

開会

○事務局

皆さま、本日はお忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。ただ今より令和元年度第1回府中市福祉計画検討協議会を開会いたします。私は福祉保健部地域福祉推進課課長補佐・福祉計画担当副主幹の中澤と申します。会長が選任されるまでの間、進行を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

今年度初めての協議会を開催するに当たりまして、事務局よりお願いがございます。後日の議事録作成をスムーズに行うため、本協議会の開催中は録音をさせていただき、記録のため、本日の協議会の様子を撮影いたしますので、ご了承くださいますようお願いいたします。

それでは、次第に沿って進めてまいります。

次第1 委嘱状伝達

○事務局

次第1の「委嘱状の伝達」でございますが、本来ならば、委員の皆さまお一人ずつお渡しすべきところでございますが、時間の関係もございますので、机の上に委嘱状を置かせていただいております。これをもちまして、委嘱状の伝達に代えさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

続きまして、吉野副市長からご挨拶を申しあげます。

次第2 副市長挨拶

○吉野副市長

皆様、おはようございます。本日は、大変暑い中、また早い時間からの会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。

本来であれば、市長よりごあいさつすべきところでございますが、本日急きょ別の公務がございまして、私が代読させていただきます。

このたびは、府中市福祉計画検討協議会委員への就任をお願いいたしましたところ、快くお引き受けいただき、また、本日はお忙しい中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

また、日頃から市政の様々な分野におきまして、ご理解、ご協力を賜っておりますことに、この場をお借りいたしまして、深く感謝申し上げます。

さて、本市では平成27年度からの6年間を計画期間として福祉分野における総合的な計画である「府中市福祉計画」を策定し、「みんなでつくる、みんなの福祉～人と人との支え合い幸せを感じるまちを目指して～」を基本理念として掲げ、様々な福祉施策を展開しているところでございます。

また、平成30年度を初年度とする「第6次府中市総合計画後期基本計画」では、「支援が必要な

人への途切れのない支援」を図るための体制づくりを主要課題の一つとして位置付けており、高齢者、障害者等様々な福祉分野で連携して課題解決に向けた取組を推進しています。

こうした状況のもと、令和3年度からの新たな福祉計画の策定にあたりまして、委員の皆様には、これからの2年間、福祉計画検討協議会委員として、専門的な知見や立場、あるいは市民の立場から貴重なご意見を賜りますことを重ねてお願い申し上げますとともに、皆様のより一層のご健勝、ご活躍を心より祈念申し上げます。令和元年7月25日 府中市長高野律雄 代読

どうぞよろしくお願いいたします。

次第3 委員自己紹介

○事務局

続きまして、次第3の「委員自己紹介」でございます。資料1としてお配りした皆様の名簿をご参照いただき、佐藤委員から時計回りの順番で自己紹介をお願いいたします。なお、本日は、藤原委員、岡本委員、櫻井委員が都合によりご欠席とのことでございます。

(※ 委員による自己紹介)

○事務局

続きまして、事務局職員の紹介をさせていただきます。

(※ 事務局自己紹介)

○事務局

なお、本計画の策定にあたり、今後の調査の集計や資料の調整など、本協議会の側面的支援を株式会社生活構造研究所にお願いしておりますので、同席させていただきます。

次第4 正副会長選出

○事務局

続きまして、次第4の「正副会長の選出」でございます。府中市福祉計画検討協議会規則第3条の規定により、委員の互選によることとなっておりますが、いかがいたしましょうか。

○委員

先程委員の皆さんから自己紹介がありましたけれども、初対面の方もいらっしゃると思いますので、事務局で案がございましたら、示していただけませんか。

○事務局

ただいま事務局案を、とのことでございましたので、お示しさせていただきます。

事務局といたしましては、福祉分野全般に精通していらっしゃるのと同時に、前回の福祉計画の策

定にも参画していただいております和田光一委員に会長をお願いしたいと考えております。

また、前回の福祉計画の策定にも参画していただいております、今回の計画策定の上でも連携が重要となっております地域福祉活動計画の策定を行っております府中市社会福祉協議会の伊藤敏春委員に副会長をお願いしたいと考えております。以上、会長副会長案をお示しさせていただきましたが、いかがでしょうか。

(※ 異議なし)

○事務局

異議なし、とのことでございますので、和田委員を会長に、伊藤委員を副会長に決定させていただきたいと存じます。

恐れ入りますが会長席、副会長席にご移動願います。

早速でございますが、和田会長、伊藤副会長から、就任のご挨拶をいただきたいと思います。

○会長

私は府中市に住んで38年になります。市の一番端の押立町ですので、少し行くと調布市でございます。道路なども、なかなかよくできているのでは、と思っています。

再来年度以降の府中市の新たな福祉計画を皆さんと一緒に策定していくということですが、皆さんの意見を大切にしながら安心して住みやすいまちを構築していきたいと考えております。皆さんのご協力を、どうぞよろしくお願い致します。

○副会長

微力ではございますが、これからますます少子高齢化に向かう中、地域福祉、市民福祉を皆さんと一緒に進めていければと考えております。どうぞよろしくお願い致します。

次第5 諮問

○事務局

次に、福祉計画検討協議会へ、副市長から諮問書を伝達させていただきます。

(※副市長から会長へ諮問書の伝達)

(※副市長、公務のため退席)

○事務局

委員の皆さんに、諮問書の写しを配布いたします。

なお、本日の会議は現時点で、委員16名中13名の出席をいただいておりますので、府中市福祉計画検討協議会規則第4条に規定する定足数を満たしております。よって有効に成立していることを申し添えます。

(※ 配布資料の確認)

6 協議事項

(1) 会議の公開等について

○会長

それでは、協議事項（１）「会議の公開等について」事務局から説明をお願いします。

○事務局

(※ 協議事項（１）「会議の公開等について」説明（資料２）)

○会長

ありがとうございました。

この件について、何かご質問等ございますか。府中市の情報公開条例ということで、会議に際しては会議録を作成しまして、各委員による内容の確認が終了した後にホームページ等で公開をするということです。よろしいですか。

(※ 異議なし)

それでは、本日は、傍聴の希望者は、いらっしゃいますか。

○事務局

本日、傍聴希望の方はおりません。

○会長

わかりました。

それでは、協議事項（２）「次期府中市福祉計画策定について」事務局から説明をお願いします。

(2) 次期府中市福祉計画策定について

○事務局

(※ 協議事項（２）「次期府中市福祉計画策定について」説明（資料４）)

○会長

ありがとうございました。ただ今、事務局から次期府中市福祉計画策定についての説明がございました。とりわけ、１０ページ、１１ページの策定のポイントとして記載がある地域共生社会の実現と福祉エリアの検討という大きなテーマがございます。これらを含めて協議会で協議をしていくという流れになるかと思えます。何かご意見等ございますか。確認等でも結構です。

いずれにせよ共生社会というのは国も含めて、地域の中でいろいろやっていきたいと思いますという流れですが、この協議会で検討していくもう一つ大きなテーマとして、福祉エリアというものがあり

ます。今まで福祉エリアは6つございましたが、それを現在11ある文化センター圏域に即してそろえていこうということだと思います。これについては前々からいろいろな論議がございましたが、地域住民が一番知っている拠り所というのは、文化センターではないだろうかと思います。福祉の6圏域というのは、甲州街道を中心に分けたりしていますが、それよりも地域住民は文化センターを拠り所としているので、文化センターを中心としながらシステム化を変更していこうではないかという考え方をここに提案しております。この協議会で確認をし、論議を重ねて、どうしたらよいかということを決めていただくことになるかと思います。その辺も含めてご意見いただけたらと思いますが、何かご質問等ございますか。

○委員

まだまだ分からないところがありますが、福祉エリアの検討に際しての質問です。今、福祉エリアとしては6エリアということになっていますが、文化センターエリアでの区分けということで進め方を考えている部分と、民生委員さんの活動区域ですとか、市内にはそれ以外にもいろいろなエリアとして区分されているところがありますが、そのようなところの見直しなども考えていくようなこともあるのでしょうか。

○会長

事務局、お願いします。

○事務局

はい、会長。福祉圏域につきましては市民の方々にとって身近な生活圏域というのをどのように考えていったらよいのか、委員の皆様にご意見を伺いながら検討を進めてまいりたいと考えています。今回掲載させていただいた文化センターにつきましては、地域住民になじみがあり、住民主体の課題解決に向けた活動が具体的に展開しやすいということからも、文化センター圏域をベースにお示ししているところではございますが、今後の検討を踏まえて協議を深めていきたいと考えております。

また、民生委員の活動のエリアを踏まえてというご質問だったと思いますが、民生委員さんの活動エリアの見直しにつきましては、今後福祉エリアを変更していく際は、変更後の福祉エリアの中で、民生委員の方々が活動しやすいようなエリア分けを今後調整していくこととなると考えております。

○会長

よろしいですか。

○委員

はい。

○会長

委員、お願いします。

○委員

同じような質問ですが、6 圏域を 11 文化センター圏域にした場合に、どのような変化があるかお示しいただけるのですか。6 圏域から 11 圏域になった結果、例えば地域包括支援センターがこの地域ではここになりますとか、そういう具体的な計画を出していただいて検討するというような形ができるのですか。

○会長

事務局、お願いします。

○事務局

はい、会長。福祉圏域のエリアについての協議につきましては、今後の第 2 回協議会でも人口等のデータ等をお示ししていきながら、検討協議を進めてまいりたいと思っております。

また、地域包括支援センターとの関係等につきましても併せて協議し、詳しく詰めていくところになってくると思いますので、その点もこの後の協議会でもお示ししていきたいと思っています。

○会長

よろしいですか。

○委員

わかりました。

○会長

その他何かございますか。

それでは、また後でまとめた質問等も含めて伺いますので、次の議題に入らせていただきます。次の議題（3）「次期府中市福祉計画策定のために実施する調査について」について、事務局より説明をお願いしたいと思います。

（3）次期府中市福祉計画策定のために実施する調査について

○事務局

（※ 協議事項（3）「次期府中市福祉計画策定のために実施する調査について」説明（資料 5））

○会長

ありがとうございました。ご意見、ご質問等ございますか。この協議会では個別分野のアンケート調査ではなくて、12 から 15 の横断的分野の調査に関するグループインタビュー、グループディスカッションに関して協議していくという事務局からの説明でございました。ご質問等ござい

ますか。

○委員

調査15の圏域別グループディスカッションは、11圏域別に4回行うということでよろしいですか。それとも11圏域を分けて、全体で4回行うということですか。11の文化センター圏域ごとに4回のグループディスカッションがありますということですか。

○会長

事務局、お願いします。

○事務局

はい、会長。1回の開催に当たりまして、11ある文化センター圏域から3圏域ごとお越しいただき、グループ討議を行う予定でございます。1回の討議に3圏域呼びしますと、4回で全文化センター圏域での討議を行うことができます。

○委員

分かりました。それで、2つか3つの文化センター圏域の中で、民生委員・児童委員、町内会・自治会、シニアクラブの方たちに集まっていただいて、そこでグループディスカッションをするということですか。そしてグループディスカッションの結果を協議会で報告いただいて話し合うということでしょうか。それとも、私たち委員もグループディスカッションに参加するということですか。

○会長

事務局、お願いします。

○事務局

はい、会長。委員がおっしゃったとおり、4回開催をいたしまして、11圏域別に調査の結果がまとまりましたら、3回目の協議会の中で委員の皆様にご報告させていただきまして、課題等を踏まえて、討議いただくというようになっています。

○会長

よろしいですか。

○委員

私たちがディスカッションに出るというわけではないのですね。

○会長

グループディスカッションの意見をまとめたものを本協議会に報告してもらって論議をするというような形になるかと思います。

○委員

調査の12と15との関係は、恐らく、地域共生社会をにらんだもので、調査15のテーマですが、その話し合いの内容で、地域の課題はどんなことがありますか、ということを土台に置くのではないかと思います。そうすると、実は生活上の課題を一番よくご存じなのは、そこで暮らしている一般市民の方だというように考えることもできると思います。調査15のディスカッション参加者に、地域で活動している担い手の方として、民生委員・児童委員さんとか、町内会さんとか、シニアクラブさんとかが並んでいますが、この方々は恐らく一般市民ではないと思います。担い手の方が並んでいるのではないかという気がしています。そうすると、調査12の担い手調査の方との対象者の違いということが少し分からないなという気がしましたので、教えていただきたいです。

また、調査15のディスカッションでは、いろいろな団体の担い手の方が並んでいて、市で抽出と書いてあるのですが、抽出とはどういう意味なのか、少し分からなかったので教えていただければと思います。

○会長

ありがとうございました。担い手の件と、抽出の件、2点についてお願いいたします。

○事務局

はい、会長。1件目のご質問の調査12の担い手調査のグループインタビューと、調査15のグループインタビューの、まず調査方法の違いとして、12に関しましては、担い手の方々に対して、活動上の課題だとか、考えている課題の聞き取りを行っていく予定で、NPO法人、それから地域貢献活動を行っている社会福祉法人の方を中心に行っていく予定です。認知症サポーターの方も含まれています。こういった形で対象を設定させていただきました。

調査15のディスカッションにつきましては、さらにボランティアで、地域で活動されている方々に、地域で抱えている課題を解決していくためには、どのように進めたらいいのかを討議していただく中で、この課題について深めていきたいと考えています。また、地域の課題に対して、地域で解決できること、関係機関のサポートが必要なことなど、そういった点を踏まえて、課題の抽出等ができればというように考えております。

それと、2点目の調査15の市の抽出という点につきましては、この後、1圏域につき2名ずつ、各団体をお願いしてご推薦いただきたいと考えてございます。

○委員

ありがとうございます。つまり、調査15は2ページの右下にあるテーマ②地域の課題を解決するために、どんなことができるだろうということを中心にとすると、そういう印象でお聞きしました。資料の1ページに全調査の関係図がありますが、福祉計画なので、一番下の分野、横断調査15、ここで地域ごとの課題を抽出して、解決策を考えていくのだと、こういう構造になっています。その上に、いろいろなプロフェッショナルの計画が並んでいるという構造だと思います。プロのサービスと、その地域の皆様の、市民の自発的な活動というのですか、その2つが合わさらないと、地域包括ケアとか、地域共生社会ができないというように考えられます。恐らく、それぞれ11圏域で地

域差というのはあると思います。その地域ごとに、どんな生活上の課題があるのかということを、そこでお暮らしになっている一般市民の方々に聞き、自分たちで、こんな課題があるのだということを明らかにしていくというプロセスは、やはりあったほうが良いという気がします。郵送方式の一般市民調査でそれをされようとしているのかもしれませんが、調査の15のところで、一般市民の方にも参加をいただいて、オープンでどんどん意見を言っていただくという方法も、プラスアルファすることができるのではないかと思います。その辺りのお考えがあれば、教えていただければありがたいと思います。

○会長

事務局、お願いします。

○事務局

はい、会長。一般市民調査ということで、広く市民の方々に調査をするわけですが、今回はエリアの見直しを考えておりますことから、実際に各エリアを変えたときに、どのような課題が出てくるか、というところも整理して、次の個別計画につなげていかなければいけないものと考えております。それで、実際に各11の圏域別のグループディスカッションを行うというようなことなのですが、こちらにつきましては、市民の目線から意見を出していただける方々を抽出していこうと考えております。広く一般の市民にも、もちろん聞きたいところはあるのですが、少しまとまりきらなくなる可能性もございますので、ある程度そのエリアの中で活動されている方々、地域の情報をお持ちになっている方々にお集まりいただいて、エリアごとのお話をさせていただく。そちらで課題が出てきたところに、次の個別計画につなげていくような形を取らせていただきたいと思いますので、市民目線で、グループディスカッションは行っていたらいいものと考えてございます。以上でございます。

○会長

あと、よろしいですか。はい、お願いします。

○委員

同じような質問になってしまいますが、11圏域別グループディスカッションというのは、つまり例えば、3つの文化センターを合わせて、それを1圏域と捉えて、4回やるということですか。

○会長

事務局、お願いします。

○事務局

はい、会長。グループディスカッションの件ですが、文化センターの11圏域で実施いたしますが、一斉に11圏域の方々を集めてのグループディスカッションは、会場の問題もありますし、意見の集約で厳しいものですから、11圏域をさらに割って3から4の圏域でお集まりいただいて、

4回に分けて意見を聞いていくような形を想定しています。

○委員

確認をいたしましたのは、ハザードマップというのがあります。今、地域の課題として、洪水になってしまったらどうしようというのが、すごく課題になっています。そうすると、圏域別ということを机上でやってもあまり課題の共通化という意味がないのではないかと思います。文化センター圏域でやるというのならば、ハザードマップで赤印が付いているところは、結構共通の課題があります。問題別とか、課題別に分けずに、机の上で合わせてしまっただけだと、課題が分散してしまいます。今、1人で住んでいる方の介護とか、震災や洪水のときにはどうしようという課題が非常に出ていの中で、もっと具体的にどことどこが一緒になるのだという案を出さないといけないと思います。そんなことはしないでしょうけども、白糸台文化センターと押立文化センターを一緒にするようなことがあると、少し課題が違います。それならば、11圏域というような言い方をしないで、元々の6圏域で話し合いをしたほうが、回数は増えるのですが、実質的に効果のあるお話ができるのではないかなと思います。

4回がいけないとか、何がいけないということではないのですが、防災上とか、その辺の課題を頭に入れた上で、圏域分けをしないと意味がないのではないかと思います。これは意見です。

○会長

はい、ありがとうございます。事務局、今の意見に対して、何かございますか。

○事務局

はい、会長。もちろん、グループディスカッションをしていただく中では、課題を絞らないといけませんと思います。今回も地域共生社会、わが事・丸ごとというようなタイトルがございますが、全ていろいろなものが含まれてきてしまいますので、実際に福祉計画を策定する段階で、福祉の視点から、何が課題になっているのかというところを、話し合っていたいただきたいと考えております。今いただいた意見を参考にさせていただきながら、実施につきましては、11圏域別で実施したいと考えていますが、話し合っていた内容につきましては、こちらで今一度、精査をさせていただきたいと考えております。以上でございます。

○会長

委員どうぞ。

○委員

これは意見です。恐らくこの協議会でやろうとしていることは、むしろ課題を絞らないことだと思います。生活上の課題というのは、まさにここに記載があるように、分野横断的に生じてしまうわけです。たまたま施策、サービスなどが横断的でなく、縦割りでできているというだけです。市民の方の生活上の課題というのは、そもそも横断的で、絞り込みがなかなかできないということではないかと、私は思っています。

ところで、ご提案は3圏域を1単位にして、4回ずつやるということですか。それであれば、この4回というのは、丁寧でとてもよいと思います。1回目、2回目、3回目、4回目と、1つの圏域で複数回実施するので、1回目から4回目まで何を話すという段取りがあると思いますが、今の段階でお考えがあれば教えていただきたいと思います。また、市で抽出して、3圏域を1単位にする際は、例えばこの圏域では民生委員さんに入っていただく、この圏域ではサロンの運営者に入っていただく、この圏域ではシニアクラブさんに入っていただくとか、そういったことをお考えなのでしょうか。

○会長

事務局、お願いします。

○事務局

はい、会長。説明が不足して申し訳ございません。4回といいますのは、全て同じような形で行う予定を考えておりまして、11ある地区の方々と、3から4の地区、圏域に分けてお集まりいただきます。参加する方々につきましても、メンバー構成も同じもので考えています。お二人の委員からもご意見をちょうだいいたしましたので、あらためてこの形について整理して、2回目の協議会の中で報告させていただきます。

4回のイメージですが、例えば第1回目では、文化センター圏域のうち白糸台、押立、紅葉圏域の方々にお集まりいただいて、お話をしていただく、2回目につきましては、西府、武蔵台圏域の方々にお集まりいただいて、1回目のグループと同じような圏域ごとの問題を話し合ってください。3回目につきましては、また実施されていない圏域の方々をお呼びして、お話をいただくということを考えてございます。スタートの認識がずれてしまって申し訳なかったのですが、各11の圏域で別れていただいている中で、お集まりはいただくのですが、圏域の異なる方々と合体して話していただいたり、11圏域で4行ったりだとか、そういったものではありません。ですので、最終的に4回終わった時に、11の各圏域の方々と話し合ってもらった結果というのをお示しできるようなものになります。

○会長

よろしいですか。はい、どうぞ。

○委員

3つから4つの文化センターごとに1回ということで、各団体から2名ずつを考えて、いろいろな地域の団体の方から、参加いただくということだと思います。そうしますと、1回の会議に40人、50人ぐらいが参加する会議だと思います。そういう大人数の方が参加して、ディスカッションがうまくできるのかなという気がしますが、これは2時間ぐらいのものですか。

○会長

事務局、お願いします。方法についてです。

○事務局

はい、会長。まず、当日の時間につきましては、グループディスカッションを行う趣旨や討議いただく課題等の説明等で30分、グループごとの討議は、2つのテーマについて30分ずつ計1時間、各グループで出た意見を全体で共有する時間で30分と、全体としては概ね2時間と考えています。

説明が前後しまして申し訳ございませんが、人数につきましては、グループごとに分けさせていただきます。1グループ6名か7名といったグループで、1エリアずつ2グループの設定いたします。3圏域ですと、2グループずつで、6グループの参加になると思いますが、委員におっしゃっていただいたとおり、1回の開催に30名から40名前後ご出席いただくような形になると思います。

○委員

分科会形式で、小さいグループに分かれて話し合っていて、全体会をしてというような形で進めるということだと思います。グループごとに小さいグループをつくって話し合いをしていただいて、その結果を全体会で発表していただくというような形でやりましょうということですか。

○会長

事務局、お願いします。極端にいうと40人集まって、40人ではグループディスカッションにならないので、4つとか5つに分けて討議をするのですかという質問です。

○事務局

はい、会長。グループごとに分けて、それぞれで討議いただいた内容を全体で共有いただきまして、各グループでどういう課題が上がってきたかというのを参加していただいた方に確認いただくような手法を取りたいと思っています。

○会長

よろしいですか。その他、何かございますか。

それでは次の議題にいきまして、あとでまとめてお願いしたいと思います。せっかく委員になられたわけですから、お一人一回はご発言をお願いしたいと思います。それでは、協議事項(4)の次期府中市福祉計画の策定スケジュールについて、事務局より説明をお願いいたします。

(4) 次期府中市福祉計画策定スケジュールについて

○事務局

(※ 協議事項(4)「次期府中市福祉計画策定スケジュールについて」説明(資料6))

○会長

はい。ありがとうございます。スケジュール案が出ていますが、ご質問、ご確認ございますか。日程も含めて、このぐらいでやりますということですがよろしいですか。

それでは、一応了解ということで、全体的に、再度確認等ございましたら、お願いをしたいと思います。

ます。いかがでしょうか。

○委員

今、聞かせていただきましたが、いままで福祉計画を知らずにいて、今のところよく分からないのですが、今後は地域のほうで、いろいろと参加させていただきながら、勉強させていただきたいと思っています。今後ともご指導よろしくお願いいたします。

○会長

はい。ありがとうございます。委員、何かありますか。

○委員

私も同じような感じですが、私はどこにも属しておりませんが、こんなにも皆さんが活動してくださって、現在があるということはありがたいことで、少しずつ勉強して、何か役に立ちたいと思っています。

○会長

はい。ありがとうございます。委員、何かございますか。

○委員

今回、私は初めて出席させていただき、何が何だか本当に分からないことだらけです。エリアについても皆さんの意見を聞いていると、やはり11に分けたほうがいいのではないかと、6のほうがもっといいのではないかとという意見がたくさんあるので、少しずつ勉強させていただきたいです。

○会長

はい。ありがとうございます。続いて、委員お願いします。

○委員

特に、意見を出さなかったのですが、実は自主防災の関係で、11圏域の文化センター圏域で取り組んでいる検討会があります。そこで検討していても、やはり意見が散ってしまう場合がかなり多いです。従って、今後の福祉のエリアを11圏域でやるのか、以前のように6エリアでやるのかということについては、相当事務局が練って、それで他の分野でも同じようなことをやっている部門がありますので、そこらの意見も参考にしてやらないと、多分、時間が足りないところだと思います。

○会長

はい。ありがとうございます。いずれにしても、2年間の間で論議をして結論を出すという形になるかと思うので、よろしくお願いしたいと思います。委員、お願いします。

○委員

私も初めて知ったこともたくさんあり、いろいろ勉強させていただきながら、この時間を過ごさせていただいていました。先ほどの調査15の11圏域別グループディスカッションに関して、私も微力ながら自治会等に関わらせていただいているのですが、どうしても地域の主体になっていただいている方が、私たちの諸先輩の世代の方が本当に多いですので、もっと私たちの世代が積極的にこういったことに関わっていけたらと思いました。ぜひグループディスカッションには、私たちの世代も積極的に参加ができるように、市からお声を掛けていただく際は、添えていただけるとありがたいというように思っております

○会長

はい。ありがとうございます。委員、お願いします。

○委員

私が今日感じたことは、今まで行政が作成する福祉計画ですとかは、漠然として見ておまして、中身について真面目に考えたことはなかったといいますか、関心が薄かったと思います。これは反省しなければならないと思います。これから一生懸命勉強して、単なる計画の言葉、文字だけではなくて、その中身は何を目的とするのか、何を最終的に達成していくのかと、自分なりの意見をまとめなければいけないという覚悟でおります。よろしくお願いします。

○会長

はい。ありがとうございます。委員、お願いします。

○委員

圏域別グループディスカッションというところで、社会福祉協議会で進めている11圏域に別れてのわがまち支えあい協議会の準備委員会、それが各地であると思いますが、先日、住吉圏域のところで、同じように人を集めて、交流会が行われました。私は参加できなかったのですが、学校等も含めて、その圏域で集めて行っています。地域ごとで、それぞれ同じような会を持っていると思うので、なるべく時期が重ならないような形でやらないと、「また集まるの。」といったことになると思います。地域で活動している方には、こういった呼び掛けは結構あって、出て行くことが多いということもありますので、社会福祉協議会ともすりあわせをしながら実施したほうがいいのではないかと思います。以上です。

○会長

はい。ありがとうございます。その辺、事務局いかがですか。

○事務局

はい、会長。今回、グループディスカッションを行うに当たりましては、社会福祉協議会のコーディネーターの方々にも、お入りいただこうと考えておりますので、たて続けに行うと参加いただく方にもご苦勞かけてしまいますので、日程につきましては、調整してまいりたいと思っています。

○会長

よろしいですか。その他、ぜひ確認しておきたいということはございませんか。

今日は第1回目ということで、この協議会では福祉計画の策定についてやりますよという説明、こういった形で進めますという提案でしたので、今後、これを本協議会で練っていくというような形になると思います。ぜひもう一度、皆さんのお手元に分厚い資料をいただきましたので、目を通していただいて、これからの府中市の福祉のあるべき姿をトータル的に協議していきますので、ぜひよろしくお願ひしたいと思います。

○副会長

大変ご苦労さまでございます。今、人生100年時代ということがございます。そういう中で、先ほども言葉がございましたが、わが事・丸ごと共生社会、人のことも自分ごととして考えるようにというような時代に入っております。今、11の文化センター圏域でコーディネーターともども、地域の人たちが、地域の課題、あるいは問題について話し合っております。ぜひ、そういうものが、どんどん進んで、地域の皆さまに大変よかったと言われるような会議ができたらいいいと思っております。そして、先ほど、防災の話が出ましたが、防災組織も11の文化センター圏域で行っております。福祉だけではなく、11の文化センターでいろんなことが、横断的に相談できたり、あるいは取り組んだりできて、市民にとって、なお一層便利になればいいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

○会長

はい。ありがとうございます。

次回以降に分野横断の11圏域別グループディスカッションについて、もう少し分かりやすくしっかりと提案をしていただければありがたいと思います。

それでは、次のその他について、事務局から説明お願いいたします。

7 その他

○事務局

(※ その他について3点説明(資料なし))

- (1) 委員委嘱に関する広報への掲載について(8月11日号以降の広報に掲載予定)
- (2) 委員報酬振り込み用の委任状及び個人番号の提供書の提出について
- (3) 次回協議会の開催日程について(9月中の開催予定)

○会長

今回は、9月中の開催予定とのことです。何かご質問、ご意見ございますか。

それでは、本日の議題はすべて終了いたしましたので、閉会いたします。どうもありがとうございました。

(以上)